

法人（事業所）理念		・株式会社フォーユーは利用者、従業員双方を大切にすることである。訪問介護・居宅介護・移動支援（行動援護）・介護タクシー・放課後等デイサービスすべてのサービスを通して高齢者や障害を抱えた方の日々の生活を支援し、そのご家族も含め、ご自宅で安心安全な生活を送れるよう心身とものサポートすることを使命とする。 ・その中で放課後等デイサービスにおいては5領域を含め、特に人間性・社会性を育てる事を目的とした療育を行う事で障害があっても社会の一員として認めてもらい、出来る限りきちんとした生活を送ることが出来る人間に成長できるよう支援していく。								
支援方針		・障害の種別や程度、年齢は一切問わないので肢体不自由児や強度行動障害の児童も受け入れており、胃ろうなど訪問看護との連携が必要な児童においても弊社と訪問看護が連携して対応する。 ・社会生活をする上で基本となる「食べる・寝る・排泄」といった動作を大切にしながら、本人の特性やペースを尊重しつつ挨拶・礼儀・優しさや思いやりといった人として最も大切な「人間性・社会性」を育てること、得意分野を活かし不得意を克服する事、を目的とした療育を行うとともに親御さんの子育てのお手伝いの一貫とした支援を行うことを支援の方針とする。								
営業時間		9 時	0 分	から	18 時	0 分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
		支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	・偏食が多かったり、昼夜逆転など生活リズムが乱れるといった状況がある為、本人の健康を考えて食事面のアドバイスをしたり、昼食購入が必要な場合には栄養バランスを考えた食事を選択する。またトランポリンや縄跳び、ダンスなど体を動かすプログラムを通じて肥満や体重増加防止を防ぎ、体力アップや体幹バランスを整える。 ・トイレでの正しい排泄を身につけ、自宅での口腔ケアが十分でない場合は口腔衛生上の観点から口腔ケアのサポートを行う。また心身の状態をみて病院受診が必要と判断すれば保護者に連絡し、病院受診を勧め、健康管理についてのアドバイスを行う。								
	運動・感覚	・病気や発育の関係による体力の低さ、体幹バランスの悪さを改善する為、「健康・生活」の領域と同様、トランポリンや縄跳び、ダンスなど体を動かすプログラムを行うことで体力アップ、体幹バランスの向上に努める。 ・パズルを通して集中力や考える力・想像力を養う。								
	認知・行動	・パニックや自傷・他傷のある児童は、それらを減らしていくとともに児童全員共通して良い事と悪い事の区別をつけることができるようにする。 ・不適切なこだわりなど悪いパターン化を無くし、良いパターン化を身につける事で自立につなげる。 ・集団活動に参加する中で言語や日々の生活場面で必要な認知度を高める。								
	言語 コミュニケーション	・集団活動を通して、様々な言葉に触れたり、指導員が向き合って声掛けすることやDVD鑑賞で発語を増やし、言葉の理解力を高める。 ・悪い言葉遣い・公共の場での不適切な言動を修正し、年齢に沿った他者と適切な言葉遣いでコミュニケーションが出来るようにする。								
	人間関係 社会性	・来所時・帰宅時は、きちんと挨拶をし、助けてもらった時には「ありがとうございます」など感謝の言葉を伝える事、迷惑をかけた時は「ごめんなさい」が出来るようになることで社会において必要な礼儀を身につけ、良好な人間関係を築くことが出来るようにする。 ・孤立を防止し、集団の中に入ること、お友達の作り方を学び、幅広い年齢のお友達と一緒に活動する中で時間を守る・順番を待つといったルールやマナーを理解し、周囲との調和性を持った活動が出来るようにする。また集団活動の中で自己肯定感や達成感を感じる事で個々の苦手分野を克服し、長所を活かす。 ・異性を含めた他者との適切な距離感を理解するとともに自立支援の観点から身辺整理等、自分で出来る事は着実に増やしていく。								
家族支援		障害を抱えた子の子育てにおいて悩みは数多くあり、子育てをする親御さんのサポート・支援も重要な為、利用者本人のみならず、ご家族全体の悩み・相談を随時受け入れており、自宅または事業所での面談やお電話を通してアドバイス等の支援を行う。					移行支援		地域の小・中学校から特別支援学校への移行や特別支援学校および放課後等デイサービス卒業後の生活介護事業所への移行の際などは、学校や事業所と移行会議を行い、利用者の特性・注意点・支援の方法などを共有している。	
地域支援・地域連携		学校および相談支援専門員と緊密に連携をとり、相談支援専門員を含めたカンファレンスを行い、学校、弊社、相談支援事業所が連携して支援を行う。 また学校と直接的な連携も行う。					職員の質の向上		発達障害とは何か？という基礎をふまえ、利用している子供達の勉強会を事業所内で開催したり、外部の研修（虐待防止やその他支援に必要な研修）に積極的に参加し、実際の支援に活かしている。	
主な行事等		季節に応じた行事（節分、ハロウィン、クリスマス、誕生日会など）を開催している。行事の開催にあたっては、子供達自身で準備を行う。 また防災の観点から地震・火災・水害など、あらゆる災害を想定した定期的な訓練も行う。								